

うぐいす

2020.May
CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

●編集発行

筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

ヒガンバナ科のスノーフレーク (和名: 大待雪草)
花ことば: 純粹・慈愛・汚れなき心

- ▶ 令和2年度予算審査 P2~5
- ▶ **特集** 第2次総合計画 P8~9
- ▶ ここが聞きたい(一般質問) P10~

第57号

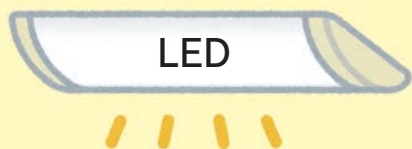
2020.5

年4回発行
5月・8月・11月・2月

これから何が変わっていく？

令和2年度 予算ピックアップ

これから
はじまる取り組みなど
一部を紹介します！



めくば一る空調・LED化工事

2億5,630万円

各小中学校照明LED化

1億2,369万円

施設を明るくし、省エネを推進します。

議場映像音響設備更新及び
インターネット議会配信委託

2,028万円

町民に開かれた議会を推進します。



夜須中学校トイレ大規模改修

1億5,273万円

校舎・体育館のトイレを洋式に改修し、
災害時などにも使用できます。



会計年度任用職員人件費

3億8,735万円

うち、期末手当

2,291万円

(人件費に含まれる)

これまでの臨時・非常勤職員制度に代わり、
「会計年度任用職員制度」が導入されました。

国勢調査業務

1,249万円

未来をつくる重要な
統計調査です。



令和2年度 予算を問う

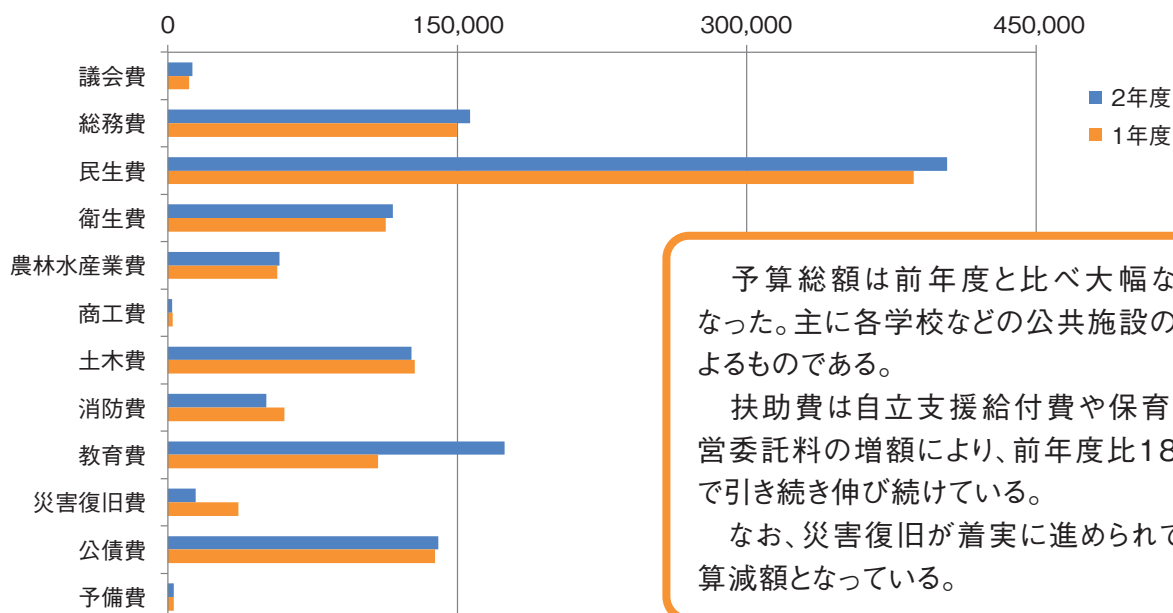
令和2年度一般会計および特別会計の予算審査特別委員会を
横山善美委員長のもと、2日間の日程で行った。



一般会計予算総額 **125億9,108万円** (前年度比 5.4%増)

前年度当初予算 119億4,683万円 (6億4,425万円増)

令和1・2年度当初予算比較表



予算総額は前年度と比べ大幅な増額となった。主に各学校などの公共施設の改修によるものである。

扶助費は自立支援給付費や保育所等運営委託料の増額により、前年度比18.1%増で引き続き伸び続けている。

なお、災害復旧が着実に進められており予算減額となっている。

歳入 (主なもの)

・町税(3.9%増額見込み)	31億 521万円
・地方譲与税	1億4,323万円
・地方消費税交付金	6億1,000万円
・地方交付税	37億5,674万円
・町債	5億6,787万円
・基金繰入金	6億4,174万円

歳出 (主なもの、前年度比)

・人件費	17億7,991万円	19.1%増額
・公債費	14億 15万円	1.1%増額 (借入金及び利子の支払い)
・扶助費	22億7,200万円	18.1%増額
・投資的経費	10億4,295万円	65.5%増額
(投資的経費:経費の支出が短期的に終わらず、 固定的な資本の形成となるもの。学校照明工事等)		

ゆくえは？ 予算の使いみち

50項目にわたった。その一部を掲載。

行政職員の定数

問 役場の職員は正規職員が175名、会計年度任用職員が168名と、ほぼ同数である。正規職員は足りているのか。

答 正規職員を少なくするばかりがよいとは思っていない。類似団体とも比較しながら取り組むたい。
(町長)

財政

問 財政調整基金は、どのくらいあるのがよいと考えているか。

答 全国一律的なものはない。本町では標準の倍、財政規模の約20％程度を考えている。
(町長)

問 町税の増額の根拠は。

答 過年度の推移からして3％の伸びがあると推計した。また、収納率が昨年98.6％と伸びており、その収納率を掛け、予算化している。
(税務課長)

問 住宅新築等貸付残高、滞納者の件数、金額は。また、法的手段に訴える考えはないのか。

答 必要に応じて弁護士相談等も活用していきたい。
(人権・同和対策室長)

問 道の駅「みなみの里」の運営委託料は。

答 今の段階で広告料を除いて1000万円前後になるのでは。
(建設課長)

問 ふるさと応援寄附金は、3億円見込めるのか。

答 前年度実績が2億3000万円あり、今後も増収が見込まれる。ふるさと納税の企業版にも取り組んでいく。
(財政課長)



ふるさと納税返礼品の一部

問 ごみ収集委託料が大幅に上がっているが、三輪・夜須個々の委託料はどうなっているか。

答 三輪が1億98万円、夜須が1億5,069万円。前回値上げした平成26年に比べると、1千世帯、約10％の世帯増となっている。
(環境防災課長)

住みたいまちに

問 上水道普及率向上のための取組みは。

答 普及率は58％。出前講座で地元に向い、水道の優位性を含めてPRしている。住宅開発に伴う事前協議において、水道接続をお願いしている。
(上下水道課長)

問 工業用地造成地の土地賃借料は毎年発生するのか。何年契約なのか。

答 借り上げている農地は、売却するまで毎年発生する。賃貸期間が1年更新である。
(都市計画課長)

問 住宅リフォーム補助は500万円の計上だが、その理由は。

答 執行実績が2年連続で500万円を下回っているため。
(都市計画課長)

予算の 令和2年度

予算に対する議員の質問は、

埋蔵文化財の行方



東小田峯遺跡
10号壺棺
国史跡:重要文化財

問 埋蔵文化財は、現在1万5500箱ある。今後の保管をどのように考えているのか。

答 将来的には一ヶ所に集めて、文化財の活用も考えていきたい。(教育長)

豊かな農林業のために

問 多面的機能交付金(農地・水)が減額になっているが。

答 今の制度の中で減額分を活用できる方策を共に考えていきたい。(農林商工課長)

就業支援

問 男女共同参画センターで行われている講座を受けて、何件の就業・起業があつたか。

答 3件の起案件数があつたと把握している。(企画課長)

問 複数で新しい事業、商品開発をする場合、何らかの補助はあるのか。

答 有利な貸付制度の案内や、その中の保証料あるいは利子について町から支援する。(農林商工課長)

子育ての応援

問 私立幼稚園の保護者の負担は。

答 所得にかかわらず月額2万5700円を上限として保育料の補助がおこなわれる。(教育課長)

問 公民館支館の日本間(子育てサロン)で食事がとれるようにするための予算は。

答 改築・安全対策のため、工事請負費20万円と備品購入費の約85万円を計上している。(こども課長)

支える福祉

問 75才以上の方は、いつ病気に罹るかわからない。滞納者への保険証未交付の方には、どのような手立てをとるのか。

答 通知等を送付し、窓口来庁をお願いしているが、対策を取りたいと思っている。(健康課長)

問 在日の国保加入者外国人は、町内で何名いるのか。

答 今年度2月末現在、被保険者数が6606名、うち外国人は23名。(健康課長)

問 配食サービスは、何人ぐらいの方が利用しておられるのか。

答 昨年の4月から本年1月まで、月平均の利用者が50人である。(福祉課長)

問 地域巡回バスの新しいルートや運行スケジュールが提示されるのはいつ頃になるか。

答 改正案がほぼ出来上がって、現在、関係者への説明やヒヤリングを行っている。できるだけ早く運行できるようにしたい。(企画課長)



めくばり号



3月定例会

3月2日から13日の12日間の日程で開催された。
3月定例会は、諮問1件・同意3件・報告1件・議案
21件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決
した。主な審議は下記のとおり。

◇筑前町消防団員の定員、任用、給与、服務等に関する条例

組織機能強化を図るため「司令長」を創設。定員数と団員数の乖離を見直すため、定員、任用、給与、服務等を改正。

◇町営住宅管理条例

民法の一部改正等により、入居手続きで保証人の設定を不要とする。

問 保証人がいなくなる訳だが、既存の入居者には適用されないのか。

答 改正前の保証人制度は改正後も、これまでの効力を継続する。

(都市計画課長)

◇令和元年度補正予算

3億4151万円を減額

問 中牟田・東小田小学校にクラス増に伴う増額補正があるが、何クラスとなるのか。

答 中牟田小学校は2年生で3クラスが見込まれている。東小田小学校は6年生について79名ではあるが、研究指定という県の事業を活用し、3クラスで編成を予定。

(教育課長)

議員の討論「令和2年度の予算について」

一般会計

反対 河内直子議員

部落解放同盟への補助金618万7千円のうち、そのほとんどが人件費に充てられている。また他の任意団体への補助金と比べてもあまりにも突出している。人件費に充てられるような補助金は支出すべきではない。

賛成 深野良二議員

部落解放同盟に対する補助金についても、部落差別解消推進法やそれに伴った県・町の条例に基づき、行政も積極的に差別の解消に取り組んでいかなければならない。

国民健康保険特別会計

反対 河内直子議員

高すぎる国民健康保険税に町民の方は悲鳴をあげている。引き続き国庫補助の引き上げを要望し、実現するまでは一般会計から繰り入れて保険税の引き上げをしていくべきである。

賛成 木村博文議員

令和元年度には税率改正も行い安定的に継続した国保財政運営に努めている。重症化予防対策と医療費抑制を図る取り組みが見られる予算編成となっている。

後期高齢者医療特別会計

反対 河内直子議員

2年ごとの保険料見直しで保険料が上がり続けられ、高齢者の方々の生活そのものが脅かされる危険性をはらんでいる。75歳という年齢だけで区分をする医療そのものに反対であり、一日も早く元の老人保健制度に戻すべきである。

賛成 田口讓司議員

広域連合と連携しながら75歳以上の高齢者の方々の心身に応じた医療を提供する適正な内容と判断する。

住宅新築資金等貸付事業特別会計

反対 河内直子議員

償還期間が終了してなお、未償還がある。今後回収はますます困難となってくる。後に続く職員の方々に負担をかけることのないよう、一日でも早く償還が終了するよう、更なる努力をお願いする。

賛成 横山善美議員

弁護士相談の活用や収納対策アドバイザーによる指導、面談による早期納付計画への見直しなど、効果的で適正な予算である。

令和2年 3月定例会		結	寺原	柳	持山	石橋	木村	深野	田口	山本	奥村	山本	木村	河内	横山
審議した議案とその結果		果	裕明	雅明	英幸	里美	和彦	良二	讓司	一洋	忠義	久矢	博文	直子	善美
令和2年度 筑前町歳入歳出予算															
一般会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
国民健康保険事業特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
後期高齢者医療特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
住宅新築資金等貸付事業特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
下水道事業会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工業用地造成事業特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 筑前町補正予算															
一般会計(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の一部改正															
筑前町監査委員条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筑前町印鑑条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筑前町営住宅管理条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筑前町消防団員の定員、任用、給与、服務等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筑前町下水道事業の設置等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筑前町水道事業の設置等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筑前町水道事業企業職員の給与に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筑前町人権施策推進審議会設置条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件															
人権擁護委員の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会教育長の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他															
専決処分の報告(夜須中学校にて発生したグレーチング跳ね上がりによる事故)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結(農災第1号鳥巢地区災害復旧工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 田中政浩は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。



◆**筑前町教育委員会**
委員 岡松 明子 氏
(新任)

◆**筑前町教育委員会**
教育長 入江 哲生 氏
(再任)

◆**筑前町固定資産評価審査委員会**
委員 井手 江美 氏
(再任)

◆**人権擁護委員**
和田 秀哉 氏
(再任)

新人事のご紹介

平成
19年度
策定

第1次筑前町総合計画

ちくぜん未来物語

「みんなで創る みどり輝く快適空間 筑前町」



ちくぜん未来物語のキーワード

- 快適で住みやすい **ちくぜん**
- 健やかでぬくもりのある **ちくぜん**
- 人を育む未来へ輝く **ちくぜん**
- 活力と交流に満ちた **ちくぜん**
- 新たな発展の基盤が整った **ちくぜん**
- みんなで創る **ちくぜん**



2018年9月 町民アンケートの結果より見えてきた町の課題

重要度の高い順

- 1位 交通事故・犯罪防止
- 2位 学校教育が充実し、子どもが健全に育つ環境づくり
- 3位 地域の医療体制の整備
- 4位 子どもを産み育てやすい環境整備
- 5位 子育て支援の施策の充実
- 6位 日常の買い物等の利便性
- 7位 消火栓や防火水槽および避難場所の整備などの災害対策
- 8位 高齢者福祉サービスの充実
- 9位 高齢者や障害のある方などへの地域の支え合い
- 10位 町の保健施策(健・検診や予防接種)の充実

満足度の低い順

- 1位 観光地としての魅力
- 2位 町内(近隣)における雇用
- 3位 企業誘致の推進
- 4位 国際交流の活発化
- 5位 活力ある商業
- 6位 宅地・農地・工業地など、適正な土地利用
- 7位 活力ある林業
- 8位 町政に町民の声を反映する仕組みの整備
- 9位 行財政改革(行政の効率化)に関する取組
- 10位 情報・通信網、インターネット環境の整備

上記のとおり、安全・教育・健康などへの関心が高く、観光・雇用・企業誘致に対する満足度が低いということがわかりました。

この結果を踏まえ、各所属機関の方々が審議されて第2次総合計画が策定されました。

令和
2年度

第2次筑前町総合計画

～「緑あふれる 豊かで 便利な とかいなか」へ～

▶ 実現のための 5 つの政策



学ぶ

人間性と社会性を育むまち

確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康と体力。変化の激しいこれからの社会を生きるために、さまざまな学びのなかで「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」を育成します。



守る

安心安全で暮らしやすいまち

防災、減災、防犯、交通安全など、いのちを守る備えは、安心安全な生活に必要なもの。良好な住環境やふるさとの緑を守る意識も大切です。



移ぐ

産業の活気あふれる元気なまち

自然の恩恵を活かした農林業と、地の利を活かした商・工業、観光など、筑前町で働きたいと思われるような魅力ある雇用の場を創出し、「筑前町で働くよろこび」を。



支える

助け合い健やかに暮らせるまち

このまちでも、さまざまな人が生活し、誰かの助けを必要としている人や、ひとりで悩んでいる人がいます。自分やまわりの人が、健やかに、そして、幸せに暮らせるように。支え、支えられて笑顔で過ごせる毎日を。



結ぶ

人を思いやり共に支え合うまち

少子高齢化が急速に加速する今、一層求められるのは、人と人の結びつき、そこから生まれる地域の絆ではないでしょうか。人を思いやり、共に支え合う「結びのこころ」を大切に、誰もが幸せに過ごすことができるまちを目指していきます。





3月定例会 町政を 問う

3月定例会の一般質問の実施については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び関係各課の対策を優先とするため、当初予定の6議員のうち2議員(山本一洋、河内直子)より質問の取り下げがあり、また他の議員においても質問事項の変更がありました。

一 般 質 問

ここが聞きたい

柳 雅明 議員 11P

- ①町おこしの取り組みについて(県道77号沿線の進展)
【町北部に目を向ける政策を】

石橋 里美 議員 12P

- ①SDGsの取組み
【SDGsの理念に沿った総合計画の実施を】

寺原 裕明 議員 13P

- ①政治に対する住民の意識向上を図る取り組みについて
【三輪地区にも期日前投票所の設置を】

木村 博文 議員 14P

- ①弱者にやさしい町づくり
【発達障がい児支援の充実を】

会議録に基づき議員個々の編集で掲載しております。
詳細は会議録(HP・図書館に置く)をご参照ください。
掲載は質問順としています。質問の内容は事前に通告し、
持ち時間1時間の範囲内で、1問1答で行います。

※質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法



柳 雅明 議員

町北部に目を向ける政策を

南北を繋ぐ要所として「道の駅」を活用していく

県道77号線沿線の進展

柳 新しい道の駅が開設されて今後、町の発展にどうかかわっていくのか。

建設課長 現在のファーマーズマーケットみなみの里に併設し、新たに「道の駅筑前みなみの里」として整備が進められている。24時間利用できるように、駐車場・トイレ・休憩施設の整備のほか、風水害等につ

いての道路情報・赤ちゃんの駅機能・防災機能・災害時の避難場所等、その他様々な分野での活用を視野に入れ、地域振興の発展のために取り組んでいく。

柳 防災の拠点として活用する場合、各関係機関の集結場所になる。その対応と防災ヘリの活用を見込んだ取り組みを、ぜひ考慮してもらいたい。

柳 町の支援でイチゴハウスが今年オープンしたが、これからの農業を町はどう支援し発展させていくのか。

農林商工課長 IOT※を活用した高品質・高収益なイチゴの栽培により、魅力ある農業を実現し、他の農家のモデルとなる栽培手法を確立する。今後イチゴにかかる新規就農者の研修施設としての活用を目指す。

IOTは他の施設園芸の参考にもなると考えている。

道路網の整備の取り組み

柳 町全域が都市計画区域と策定されている中で、主要地方道久留米筑紫野線沿線の開発構想はあるのか。

町長 県道200号バイパス、久留米筑紫野線は町の悲願だった。農業振興地域の道路開設ではあるが、農業が将来的に大きく変わろうとすれば、大手企業が農業部門へ進出する可能性がある。町は、そこにもしつかり目を向けながら、農業と地域の活性化、道路の活用化に向け、知恵と努力が必要と思われる。

柳 福岡都市圏構想周辺地域として、田園と住居が互いによりよい環境で存在するまちづくりを、当局と協力しながら目指していきたい。

※「もの」(機器等すべてを指す)を「インターネット」につなぐことで、「もの」からの情報を取得し、適切な方法で制御することができるしくみ。



交通量が多くなった県道77号線

石橋 里美 議員



SDGsの理念に沿った総合計画の実施を

「とかいなか」を理解しながら研究していく

SDGsと

総合計画の関連性

石橋 SDGsとは、「誰一人取り残さない」ことを誓い2030年までを期限とする17の国際目標であり、日本でも積極的に取り組まれている。

総合計画の中で、障がい者とその家族の生活支援の施策は。

福祉課長 障がいのある方の身近な介助者がいなくなった後の生活不安に對して、施設への短期入所サービス等を案内しながら将来の相談に応じていく。

石橋 生ごみ処理機等の購入補助金は。

環境防災課長 生ごみ処理機は、購入価格の半額、3万円を上限に1世帯1基を補助。生ごみ処理容

器(コンポスト)は、購入価格の半額、3万円を上限に1世帯2基以内を対象に補助している。

石橋 グローバルな人材の育成に関する主な取り組みは。

教育長 ALTを増員した外国語科及び外国語活動の充実や、立命館アジア太平洋大学留学生との交流、英語スピーチコンテスト、英語検定受験料の補助を実施している。

石橋 平和教育の主な取り組みは。

教育長 大刀洗平和記念館入場料の町内小・中学校各1学年分の補助や、平和学習を計画的に実施している。

石橋 ユネスコスクール(※)加盟への検討は。

教育長 県内加盟校等から情報を集めて、今後研究していきたい。

石橋 総合計画に掲げた将来像実現のための取り組みは。

町長 総合計画の3万人の町をなぜ目指すのかを理解しながら、SDGsの問題も研究していく。

※ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校。



持続可能な開発目標(SDGs)



寺原 裕明 議員

三輪地区にも期日前投票所の設置を

投票所の人員確保が困難で、増設は厳しい

**町民の政治参加を
促す取り組みについて**

寺原 新型コロナウイルス感染症防止対策で、学校が休校になった。急な措置のため、児童・生徒、保護者、学校、学童保育所では対応に追われ、大変な状況である。事態の一刻も早い終息を願っている。

それでは、現在行われている、期日前投票の意義を問う。

総務課長 有権者の投票機会の確保に繋げていくことと認識している。

寺原 本町では、期日前投票をする人たちが増えてきている。しかし、期日前投票をした人の割合は、三輪地区は夜須地区より7、10%少ない。投票所の配置に不均衡が生じているのではないか。

総務課長 選挙に必要な人員の確保が困難であり、平成23年度以降は本庁舎のみとしている。

寺原 総務省からの通知によれば、期日前投票所が2以上ある場合、2つ目の期日前投票所については、開ける日数や時間帯は当該市区町村の選挙管理委員会の判断でよいということになっている。開ける日数や時間帯に弾力性を持たせて、三輪地区にも期日前投票所を設置すべきではないか。

総務課長 期日前投票、当日投票の立ち合いについては、人員確保が困難で増設は厳しい状況である。期日前投票は、以前より浸透してきたと思っているが、選挙管理委員会の検討課題としたい。

寺原 期日前投票は、実施予定である議会のインターネット中継とともに住民の政治参加を促すものである。今後とも検討をお願いしたい。



本庁舎前 投票案内板



木村 博文 議員



発達障がい児支援の充実を

調査研究してアクションを起こしたい

発達障がい児が

ピンチ

木村 発達障がいがある子ども（ゆつくりさん※）がとも増えているが、支援員・施設が少ない。早急に対策を。

町長 近隣の自治体等を研究しながら、様々な協議会を開き、アクションを起こしたい。

※成長がゆっくりな子どもを親しみを込めて呼ぶことば。

発達障がい支援

センター

木村 公立保育所立替え時に発達障がい支援センター機能を。

町長 障がい者福祉サービスは施設が不十分という認識は、十分に持っている。

る。マスタープランに於いてどう関連付けていくかを検討したい。

特別支援学級の

充実を

木村 特別支援学級の支援員と教室が足りない。早急に対策を取り組むべきでは。

教育長 専門職を確保して組織体制の充実整備が必要と考える。

教室は規格が弾力的に対応できる様になったが、県等に補助金の要望を更に進めていく。

弱者にやさしい

町づくり

木村 現在の町の福祉の課題は。

福祉課長 高齢化率の上昇によりサポートも複雑



なものが増加している。また、家族関係の希薄化から、困難な問題を抱えている家庭が増えて、対応に苦慮している。これからは地域共生社会において、住民が自分の事として参画し支え合う事が求め

られる。行政だけの解決は困難。まずは自助、そして互助、共助の地域力での支援、職員は連携、協力をしながら、寄り添って対応していく事が望ましいと考える。

拡充が急がれる施設



議会研修会を開催

議会で、「地域の活性化」について、勉強会を行いました。

講師は、筑前町弥永にある自転車製造・販売兼カフェオーナーの山田大五朗さん。実はマウンテンバイク世界選手権の元日本代表でした。現在は、サイクルコイデイナーとして活躍されています。

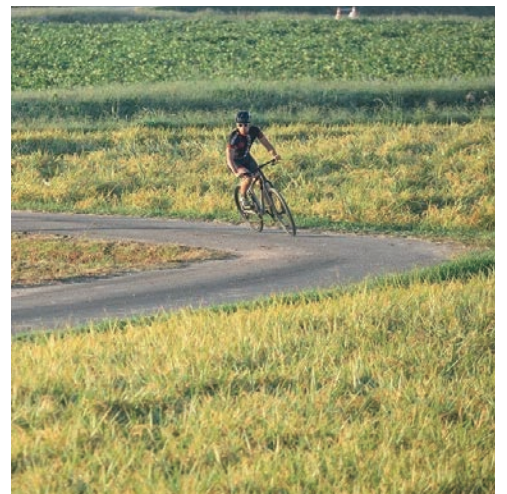


講師 山田大五朗氏

筑前町出身の方ではありませんが、この町が好きになって、移住されたそうです。ここは福岡市からほど近く、自然豊かな素晴らしい環境があり、自転車を通してこの環境を生かした地域貢献ができた、ということでした。

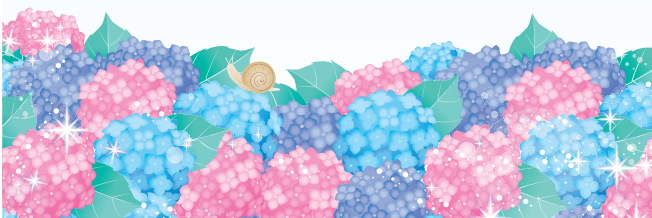
特に夜須高原周辺はサイクリストの人気の場所であり、また福岡から大分へ抜ける「最短コース」の地の利があることで、サイクルツーリズムの可能性を見出されていました。

地元では気づかないことを気づかされる、良いきっかけとなりました。



令和2年6月定例会日程(予定)

月	日	曜日	会 議
6	5	金	定例会開会日 10:00～
	6	土	
	7	日	
	8	月	
	9	火	一般質問 10:00～
	10	水	一般質問 10:00～
	11	木	
	12	金	定例会閉会日 14:00～



議会からのお知らせ

●傍聴のお知らせ

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。

役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

●6月議会の一般質問通告書の公開

5月29日以降、ホームページで公開の予定です。支所窓口や議会事務局で一般質問通告書を配布していますので、ぜひご覧ください。

※詳しくは筑前町議会事務局まで

TEL:0946-42-6622

E-Mail:gikai@town.fukuoka.jp

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。





国道386号線バイパス沿いの熊ヶ山

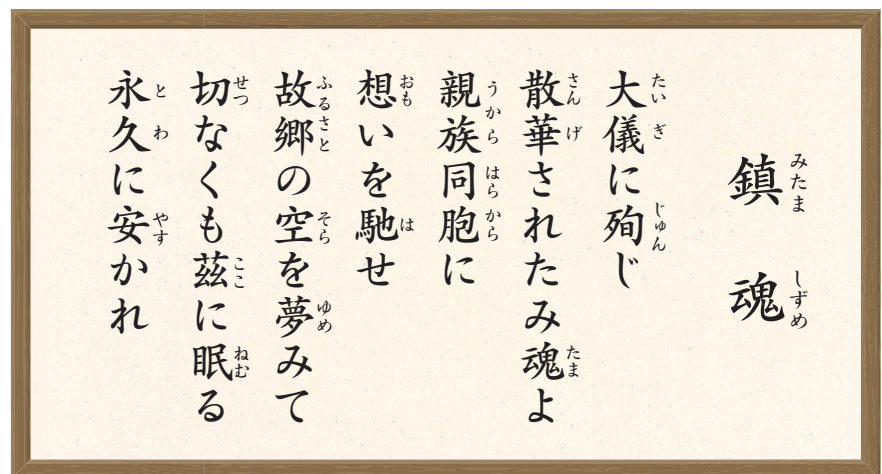
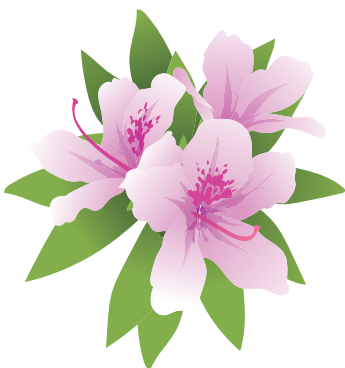


熊ヶ山では、毎年3月27日に「平和の碑のつどい」が行われています。今年はつどいが中止となりましたが、人々が献花に訪れていました。



平和の碑

1945年大刀洗飛行場を襲った爆撃で、600人余りの命が奪われ、そのうち身元不明者の遺骨が熊ヶ山に埋葬されました。熊ヶ山の地元久光区では犠牲者を偲び、木柱の慰霊を守り続けてこられました。戦後50年の節目の年に、町が埋葬場所周辺を整備し、「平和の碑」を建立しました。爆撃のあった3月27日に開催される平和の碑のつどいでは、平和を守っていくことを誓い、献花や献句、語り部体験などが行われています。



平和の碑の碑文

編集後記

いつ、終息するのだろうか。新型コロナウイルスのこ
とである。わが町にも影響
を及ぼしている。今年の卒業
生や新入生には、遠くから
「おめでとー」と言葉を送る
事しかできなかった。寂しい
かぎりである。

四月から、新年度がス
タートしたが、イベントは短
縮・自粛・中止となり、各施
設は一部を除き閉館・閉鎖
となっている。生活や経済に
も甚大な影をおとしてい
る。この状況が一日も早く終
息することを願うばかりで
ある。

(木村 和彦)

発行責任者

議長 田中 政浩

議会広報特別委員会

委員長 山本 久矢
副委員長 河内 直子
委員 寺原 裕明
委員 柳 雅明
委員 石橋 里美
委員 木村 和彦